

<調査研究事業：県職員の人材育成に関する調査研究（令和3年度）>

○職員の人材育成

取組団体：長野県高森町

取組内容：人材力診断システム「SUZAKU」を活用した人事・人材育成・職員採用

1. 高森町の概要

人口：13,034 人（令和2年1月1日時点）

職員数：106 人（令和3年4月1日時点）

総面積：45.36 km²

図表1 高森町の位置図



出所：高森町「2020 町勢要覧」

2. 取組の背景・目的及び取組の内容

・人材力診断システムの概要

高森町は、AI人材力診断システム「SUZAKU」（以下「SUZAKU」という。）を導入している。

SUZAKUは、職員個人の人材力診断情報（設問数：約180問）を分析し、個人・組織の状態を可視化することができるAIツールである。高森町では組織とのミスマッチによる離職防止や人材育成に課題を抱えていたことからSUZAKUによる分析結果をこれらの参考資料とするなどの活用を展開している。

なお、この取組は個人・組織の状態を客観的にみることで個人のスキルアップや組織改善につなげることを目的としているため、町職員に対して人事評価に係るものではないことを十分説明した上で実施している。

3. 成果・課題

(1) SUZAKUによる成果①：組織全体の傾向把握

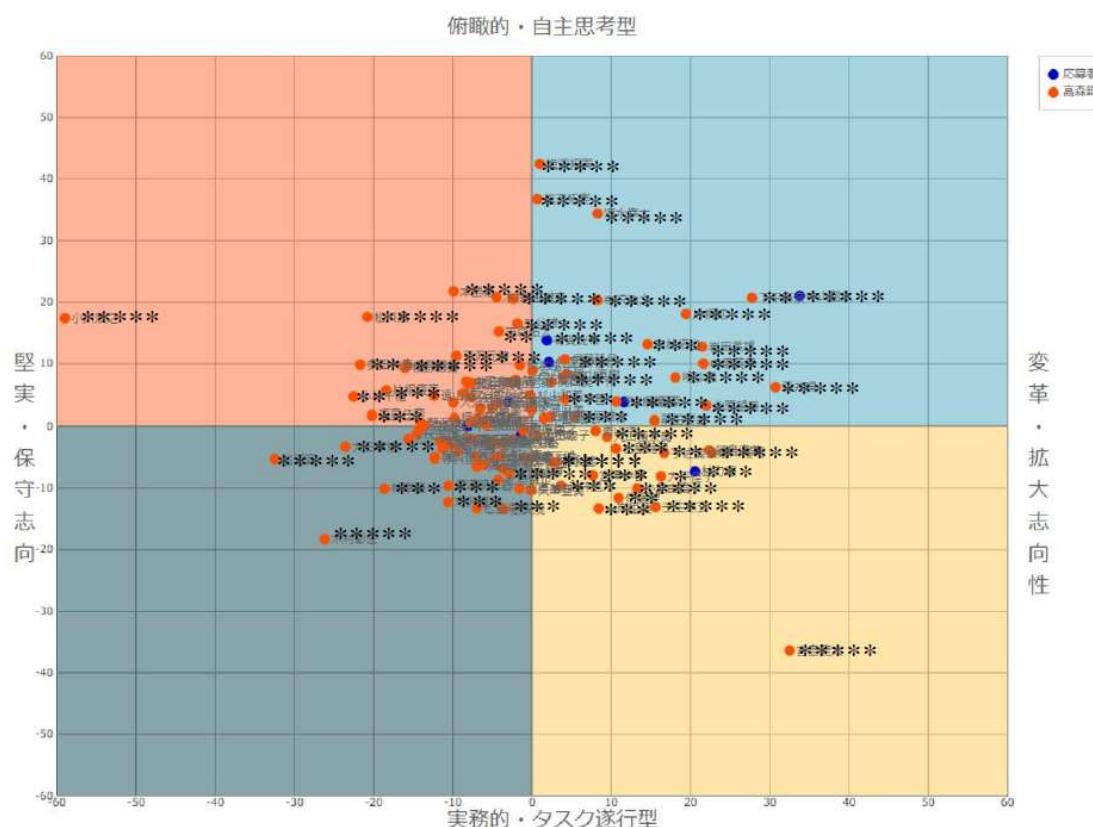
SUZAKUは職員ごとの傾向を4象限のマトリックス（俯瞰的自主思考型/実務的タスク遂行型/変革・拡大志向型/堅実・保守思考型）に分布させることで組織全体の傾向を掴むことができる。

図表2は高森町職員の分布図であるが、傾向として比較的右上（俯瞰的・自主的思考/変革・拡大志向）に寄った分布となっていることが分かる。

図表3は高森町職員の長所（青色）と短所（赤色）を示したものであるが、このように俯瞰的に職員の傾向を組織的に把握することで職員研修の検討材料や上司から部下に対して行う助言・指導に寄与することができる。

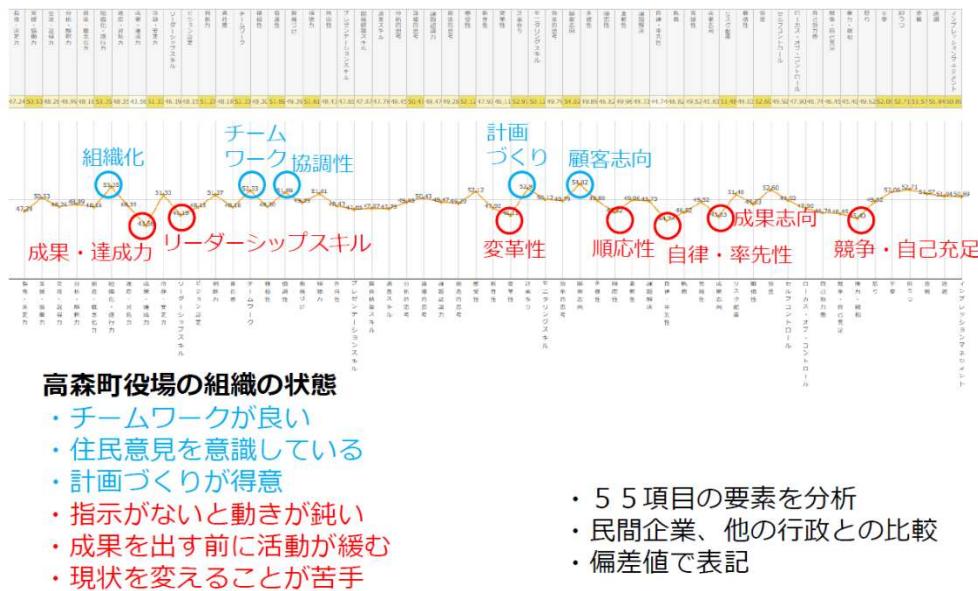
また、職員採用の受験者と現役職員の診断情報を活用した組織とのマッチングにも活用の幅を広げている。令和2（2020）年度職員採用試験の参考資料として、一次試験合格者に対しても同様の人材力診断を行うことで受験者の概ねの傾向を掴み、面接において診断結果を基にした質問を行いながら受験者の傾向を把握した。実際、面接では診断結果とほぼ同様の傾向が見て取れるとのことであった。職員採用におけるSUZAKUの活用が進むことで、将来的に高森町が求める人材を戦略的に採用するための一助とすることが期待でき、職員採用時に受験者の傾向を掴む効果は大きいものと思われる。

図表2 高森町役場の傾向（人材マップ）



出所：高森町提供資料

図表3 高森町の状態

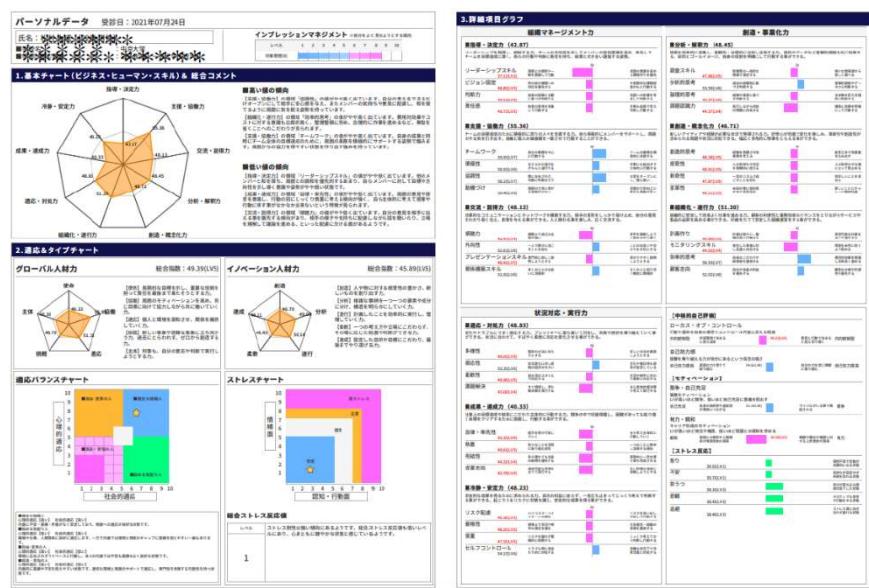


(2) SUZAKUによる成果②：職員個人のスキルアップ分野の明確化

個々の診断結果は個人分析シートとして職員個人に配布されている。シートには個々の長所・短所・傾向などがデータに基づき可視化されており、これによって自身の強み・弱みなどを再認識する機会になっている。

また、スキルアップが必要と考えられる分野が明確となるため、自己研鑽や任意研修の選択に役立てることが可能となり、診断結果を基に自身に不足するスキルを補うべく任意研修に参加する職員が増加している。

図表4 個人分析シート



(3) 運用に当たっての注意点

SUZAKU による診断結果は個人の主観による回答から得た傾向であり、職員個人の力量等を全て表しているものではないため、職員採用時等において、全幅の信頼は寄せず、あくまでも参考の取扱いとする必要がある。

また、この診断結果を人事評価に直接的に結びつけることはせず、個人のスキルアップや組織改善につなげるためのヒントとして活用することが主であることを明確にした上で実施しなければならない。従って、人事評価において、評価者は診断結果に左右されることなく公平な評価を行う必要があることに注意しなければならない。

(4) 今後の課題認識

高森町での取組はまだ始めたばかりの段階であり、今後も職員採用等での活用を継続するとともにその幅を更に拡大する予定である。数年後には同診断を全職員に再度実施し、職員個人や組織の状態を今回の診断結果と比較・検証することで、それぞれの成長につなげていきたいと考えている。

【参考】

高森町ホームページ

<https://www.town.nagano-takamori.lg.jp/>